【月案】２月・１歳児

今月の保育のポイント

- 子ども達は2歳の子どもが多くなり、走りたい、跳び跳ねたい、動きたい盛り。寒い外でも元気に過ごすことをねらいとする。すぐに汗をかく子どもは特に注意で、汗が冷えて病気の元にならないよう、保育士が子どもを見て脱ぐ、着るを判断し促していく。
- 自分で上着を着る、靴下をはくなどの動作を行う姿も見られる。「見て見て」と認めてほしい子どもの気持ちも存在する。時間が限られている中でも、あえて手伝わずに保育士が意欲ある子どもを見て褒めるだけというのも環境。
- 走りまわる、跳ぶ運動能力は育ってきたものの、ぶつからないように危険を回避するなど、視野は狭く、距離感などつかみにくいところがあるので、怪我をしないように見守り、援助する。
- 排泄に関しても自立の芽生えが見られる。トイレでできた、成功した体験を積むことは大事。

月のねらい

- 保育者や友達と簡単なごっこ遊びをすることを楽しむ。
- 寒い時期でも健康に過ごせるようにする。
- 保育者や友達と一緒に豆まきに参加することを楽しむ。
- 簡単な身の回りのことに取り組もうとする。

週のねらい

その１

- １週目：豆まきに参加し、異年齢児と共に楽しく過ごす（教育）
- ２週目：園庭や公園で冬の自然の散策をし、寒い中でも元気に過ごす（教育）
- ３週目：安心できる環境の中で好きな遊びを楽しむ（養護）
- ４週目：友達や保育者と一緒に遊ぶ楽しさを感じる（教育）

その２

- １週目：保育者や友達と一緒にごっこ遊びを楽しむ（教育）
- ２週目：一人ひとりの体調に留意し、寒い時期を健康的に過ごせるようにする（養護）
- ３週目：戸外の様々な生き物や自然物に触れ、発見を喜ぶ（教育）
- ４週目：遊びや製作の中で手先、指先を使った感触遊びを楽しむ（教育）

その３

- １週目：言葉や行動等から一人ひとりの思いを受け止め、安定して過ごせるようにする（養護）
- ２週目：走る、くぐる、跳ぶ等、体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。（教育）
- ３週目：上着、靴下、ズボンの着脱等簡単な身の回りのことに取り組む。（教育）
- ４週目：友達の言葉や行動に興味を持ち、真似し合うことを喜ぶ。（教育）

その４

- １週目：保育者に見守られながら手洗いや水分補給を行い、健康に過ごす。（養護）

- ２週目：氷や雪、氷柱等、冬ならではの自然に触れて遊ぶ楽しさを味わう。（教育）
- ３週目：言葉や身振りで玩具のやりとりをしようとする。（教育）
- ４週目：保育者の言葉を聞き、真似て発声してみようとする。（教育）

前月末の子どもの姿

養護（生活）

- 意欲的に食事を進め、スプーンやフォークを少しずつ上手に使えるようになってきている。
- 好き嫌いがはっきりとし、欲しくないものは「いやだ」「いらない」など言葉で表現する子どももいる。
- 排泄する感覚が分かりトイレに行こうとする姿がある子どももいれば、トイレを嫌がる子どももいるなど一人ひとりの個人差が大きくある。
- 自分の引き出しから着替えを出したり片付けたりし、身の回りのことを意欲的に行おうとする姿が見られる。
- 鼻水が出ていることに気づくと袖で拭ってしまったり垂れたままになってしまっていることがよくある。
- 食材に興味を持ち指差しをしたり、「人参」「おいも」等と言葉にする。
- 寒い日が続き、戸外で活発に遊ぶ子がいる一方で立ちすくむ子もいた。
- 自分で靴下を履こうとする。中々履くことが出来ず、靴下を投げたり、途中で諦めたりすることがある。
- 友達の靴やエプロン等の持ち物が分かり、渡そうとする。
- 保育者の言葉をオウム返しする姿が見られるようになってきた。

教育（遊び）

- 友達が遊んでいるものに興味を持ち、一緒に遊ぼうとする姿があるが、自分が使いたくて勝手にとってしまうこともある。
- 自分の気持ちを「ちょうだい」「どうぞ」など片言な言葉で一生懸命表現しようとする子どももいる。
- 好きな遊びに熱中し、声をあげて楽しそうにする姿がある。
- 指先を使う遊びにも興味をもち、少しずつ上手に指先が使えるようになってきている。
- 活動を通してペンやマジックなどに親しみ、絵を描くことを楽しんでいる。
- 保育者に「作って」「読んで」と自分の要求を言葉や行動で伝える。
- バッグやエプロン、ままごと等で買い物ごっこや食べる真似をしながら遊ぶことを楽しんでいる。
- 滑り台、コンビカー、トンネル等で積極的に遊び、繰り返し楽しんでいた。
- 友達と行動を互いに真似し合い、面白がっていた。
- 最初は不思議そうに見つめていた正月遊びに少しずつ興味を示し、福笑いやコマ、お手玉等で遊ぶ姿が見られていた。

活動内容（五領域対応）／環境構成と援助

養護（生活）

- **活：**嫌いなものでも食べてみようとする。（健康）
  環：食事の際には「おいしいね」など保育者が声をかけ、楽しい雰囲気の中で意欲的に食事がで

きるように工夫する。また、嫌いなものを食べてみようとできたときにはその姿を認め、頑張ったことに喜びを感じられるようにする。

- **活**：衣類の着脱や鼻をかむなど、身の回りのことを自分で行う。（健康）
  環：衣類の着脱に時間がかかってしまったり、前後反対に着たりしてしまうこともある。自分で頑張っている時には待ったり、さりげなく前後を直したりし、子どものやる気を落とさないように注意する。
- **活**：豆まきに参加し、異年齢児と触れ合いながら楽しく行事に参加する。（人間関係・環境）
  環：豆まきの際には異年齢児の職員と連携を取り、危険なく過ごせるように環境を工夫する。
- **活**：寒さに負けず、元気に過ごす。（健康）
  環：感染症の流行る季節なので、鼻水やせき、その他食欲や表情など体調の変化が見られないか注意深く観察する。思いっきり走ったりジャンプしたりが存分にできるよう運動遊びを取り入れたり、戸外でゆっくり遊ぶ時間を設ける。
- **活**：手洗いの方法などを知り、やってみようとする。（健康）
  環：手洗いのやり方を繰り返し伝え、子どもが意欲的に行えるように援助していく。
- **活**：おもちゃ等の物で遊ぶとき、貸し借りや順番待ちを保育士や生活から学ぶ。（人間関係）
  環：取り合いになってしまったら、互いの気持ちを聞いて仲裁に入る。待つことや「かして」などの適切な行動と言葉を子どもに伝える。
- **活**：自分の思いや要求をかんたんな言葉で表現し、伝えようとする。（人間関係・言葉）
  環：子どもの話を反復しながら聞くことで、共感する気持ちや伝わっていることを知らせる。普段から「おもしろい形の石だね」など、言葉を投げかける。
- **活**：会話を楽しみながらも食器に手を添え、食事に集中する。（健康）
  環：「これを食べたらお話しようか」と食べることに目を向けられるよう声掛けし、一緒に食器に手を添え、習慣になるように援助をする。
- **活**：保育者の誘いかけでトイレに行き、排泄しようとする。（健康）
  環：排尿の間隔を把握し、トイレに誘うことで成功体験を積めるようにする。嫌がるときには無理なく気持ちを尊重し、意欲を引き出せるような働きかけを持つ。
- **活**：室内外問わず、体を動かして遊ぶことを楽しむ。（健康）
  環：寒さから立ちすくむ姿が見られる時は、保育者が遊びに誘ったり、新しい遊びを提案し体を動かす意欲を引き出せるようにする。一緒に遊ぶ中で「ポカポカしてきたね」と体が温まる嬉しさを感じられるよう関わる。
- **活**：快適な環境の中でぐっすり眠る。（健康）
  環：鼻水や咳の症状に留意しながら頭部を少し高くしたり、水分補給を行い、熟睡できるような環境を整える。
- **活**：保育者の言葉を聞き、発音を真似してみようとする。（人間関係・言葉）
  環：保育者自身が言葉遣いに留意しながら、正しい言葉で関わっていく。はっきりとした言葉で口元をはっきりと動かしながら発語への意欲に繋げる。
- **活**：保育者に要求を受け止めてもらい、安定して過ごす。（健康・人間関係）
  環：はっきりとした言葉を話せない子が多い時期のため、周囲の状況も含めて気持ちを汲み取り、「○○だったね」と代弁し受け止めながら、伝わったという喜びや安心感に繋げ、安定して過ごせるようにする。
- **活**：スプーンやフォークを使い自分で食事をすることを楽しむ。（健康）
  環：「人参すくえたね」「ハンバーグ刺せたね」と笑顔で認めながらスプーンやフォークを使って食べる喜びに繋げる。必要に応じて手を添えて持ち方を知らせる。
- **活**：「おはよう」「こんにちは」「いただきます」等の生活に必要な挨拶を知り、保育者と一緒に挨拶をする。（健康・人間関係）
  環：保育者が挨拶を示し、「一緒にご挨拶しよう」と関わりを持ちながら、言葉や仕草で挨拶する空間を共有することで挨拶の心地よさが芽生えるようにするとともに、自然に挨拶ができるよう働きかける。

- **活：**友達の存在に興味を持ち、自ら触れ合おうとする。（人間関係）
  環：友達の頭を撫でたり、抱きしめたり、挨拶をする様子を笑顔で温かく見守り「○○ちゃんと一緒に遊べて嬉しいね」「大好きなんだよね」と言葉かけしながら友達と触れ合う喜びを感じられるよう関わる。

教育（遊び）

- **活：**園庭や公園で遊び、冬の自然に触れる。（環境）
  環：冬の自然に触れて遊べるよう、「氷があるよ」「冷たいね」など保育者が積極的に子どもに伝えていく。
- **活：**「やだ」「自分でやる」など簡単な言葉で自分の気持ちを表現する。（言葉）
  環：簡単な言葉でも表現できた時には褒め、気持ちを伝える喜びを感じられるようにする。
- **活：**指先を使う遊びを通して、指の使い方を経験する。（環境）
  環：ひも通しやボタン留め等のいつでも遊べる玩具を導入したり、定期的に粘土などの感触遊びを取り入れる。
- **活：**友達や保育者と一緒に簡単なごっこ遊びをする楽しさを味わう。（人間関係・表現）
  環：保育者も一緒に簡単なごっこ遊びや見立て遊びを楽しみ、同じイメージの中で遊ぶ楽しさを感じられるようにする。
- **活：**のりやマジックを使って豆まきに関する製作を行い、行事に親しみを持つ。（環境・表現）
  環：事前に絵本を読み聞かせたり豆まき遊びをするなど、節分のイメージを膨らませてから製作に取り組む。
- **活：**友達が行っていることに興味を持ち、同じことをしたり、同じものをもって一体感を楽しむ。（人間関係、環境）
  環：友達とのやりとりが楽しめるように保育者も一緒に遊び、イメージが膨らむような動作や素材を集めておく。
- **活：**柑橘系の植物や氷、霜柱など冬の自然を味わう（環境）
  環：外で実際生えているものに触れて、室内に持ち帰り香りを楽しむなど味わう。雪や氷に触れた後は温められるようにしもやけにならない程度のお湯を用意する。
- **活：**ボールを転がす、スコップで掘るなど、道具に応じた使い方を楽しむ。（環境）
  環：スコップを投げてしまったり、適切でない使い方をした時には正しい使い方を伝えながら一緒に手を添えて行う。手首の操作など、発達段階によっては難しい場合があるので、挑戦する気持ちを認めながら暖かく援助を行う。
- **活：**滑り台、マット、平均台、トランポリンなど様々な運動遊具に興味を持ち、全身を使って遊ぶことを楽しむ。（健康・環境）
  環：安全面に留意しながら、保育者が手を繋いで少し高めの段をジャンプしたり、のぼったりしながら様々な体の動きに挑戦出来るように関わる。
- **活：**豆まきの余韻を味わいながら、遊ぶことを楽しむ。（環境・表現）
  環：節分後も豆まきごっこをしたり「鬼来たね」「鬼バイバイね」と言葉にする姿を受け止め、余韻を大切に関わる。恐怖心が見られている時には「もう鬼さん来ないよ。大丈夫」と言葉かけし、安心感に繋げていく。
- **活：**自分でブロックを組み立ててみようとする。（健康・環境）
  環：ブロックの組み立て方を繰り返し伝えたり、手を添えて一緒にやってみる中で、ブロックが繋がる面白さを感じられるようにするとともに、指先の発達に繋げる。
- **活：**音楽に合わせて体を動かすことを楽しむ。（表現）
  環：保育者が大きく体を動かしながら「ピョンピョン」「フリフリ」等と体の動きと連動した言葉を添え、模倣しやすいようにする。模倣せず自由に体を動かす姿も受け止め、音楽に合わせて表現する楽しさに繋げる。

- **活：**自由にお絵かきをしたり粘土遊びをする楽しさを味わう。（環境・表現）
  環：笑顔で「グルグル描けたね。」「おにぎりかな？」と言葉かけし、クレヨンや粘土を使う楽しさや面白さに繋げる。
- **活：**「もう１回」と言葉や身振りで伝え、好きな遊びを繰り返し楽しむ。（人間関係・言葉・表現）
  環：気持ちを受け止め、好きな遊びを十分に楽しみ満足感を味わえるようにする。又、運動発達や想像力、表現力等に繋げられるようにする。
- **活：**絵本に親しみを持ち、じっくりと見つめたり、言葉を聞いて真似することを楽しむ。（環境・言葉）
  環：色々な言葉や絵に触れられるよう、種類豊富に絵本を用意する。気に入った絵本を何度も見る中で、絵本を親しむ気持ちや絵本の楽しさに繋げる。
- **活：**新聞紙・折り紙遊びを通して、ちぎる・丸める・折る・音を聞く等の感覚遊びを楽しむ。（健康・環境）
  環：「ビリビリ音がするね」「小さくなったね」等と気付きに共感しながら五感で楽しめるよう働きかける。又、身近な物に見立てながら、遊びを発展させていく。

健康、安全面で配慮すべき事項

- 戸外に出る場合には、寒さが厳しいため長時間遊びすぎないよう時間にもよく配慮する。
- 汗をかいたり鼻水が出たりしていないか、健康状態にもよく注意しながら様子を見ていく。
- 走って遊びたい子どももいれば、座ってゆっくりと遊びたい子どももいる。怪我に繋がらないよう、それぞれの遊びのコーナーを作るなど工夫をする。
- 室内外の気温差がありすぎたり室内が乾燥したりしないよう、室内の温度や湿度に気をつける。
- 感染症が広まりやすい時期である。職員だけでなく保護者とも連携をとりながら、広まらないよう注意喚起を行っていく。
- 氷や氷柱のある場所に留意し、怪我防止に努める。
- 自分の気持ちが伝わらないことで叩こうとしたり、物を投げようとすることがあるため、子どもの様子を丁寧に見守るとともに仲立ちをする。
- 積雪により避難経路が確保できないことがあるため、その都度確認をしておく。
- 小まめに水分補給を行いながら、感染症予防に努める。
- 活動の様子に応じて衣服交換を行い、健康に過ごせるようにする。

今月の製作・歌・絵本・手遊び・室内室外遊び

製作

- バレンタイン製作／かんたんペンギン製作／画用紙deオニ帽子

歌

- うぐいす／コンコンクシャンの　うた／かぜさんだって

絵本

- ぐるぐるちゃんとふわふわちゃん／ひらいたひらいた／ポケット

手遊び

- トントントントンひげじいさん／いとまき／てんぐのはな

室内室外遊び

- ＰＥテープで引っこ抜き／ストロー落とし／しっぽつき鬼ごっこ

行事

- 誕生日会
- 避難訓練
- 身体測定
- 節分（豆まき）(２月初旬)
- 建国記念日(２月11日)
- バレンタインデー(２月14日)
- 猫の日(２月22日)
- 天皇誕生日(２月23日)

食育

- 嫌いなものも頑張って食べられた時には子どもを認め喜び、楽しい雰囲気の中で食事を進めていけるようにする。
- スプーンを使う手やお皿に手を添えるなどマナーがあることを知らせていく。
- 豆まきを通して食材に興味を持ち、食べてみようとする。
- 保育者や友達と一緒に食事の挨拶をする。

地域と家庭との連携

- 自己主張が強くなり、「自分で」と訴える姿が多くなる時期なので、気持ちを受け止めながら、子どもが満足できるかかわりの大切さを伝え、家庭と連携を取れるようにする。
- 体調を崩しやすい時期なので、家庭での様子を聞き取り健康状態を保護者と共有していく。
- 身の回りのことを行いたい気持ちが芽生えてきたことを知らせ、衣類やカバンなどに記名をお願いする。
- 着脱しやすい衣服の用意をお願いする。
- 少しずつ言葉が出てくる時期になってくるため、言えた言葉を共有し成長を共に喜び合う。
- 豆まきの様子を動画や写真で共有し、雰囲気を味わってもらう。

自己評価

- 異年齢児と関わりを持ちながら楽しい雰囲気の中で行事に参加することができたか。
- 戸外で冬の自然に触れながら、元気に遊ぶことができたか。
- 簡単な言葉を使って子どもが気持ちを表現することができたか。
- 衣類の着脱や鼻水をかむなど、身の回りのことをやってみようとできたか。
- 子ども一人ひとりが好きな遊びを見つけ、思う存分遊び込むことができたか。
- 嫌いな食べ物も食べてみようとする姿が見られたか。
- 一人ひとりが安心して豆まきに参加出来るよう関わったか。
- 保育者や友達とごっこ遊びを楽しんでいたか。
- 一人ひとりの健康状態に留意し、体調の変化に早期対応できたか。
- 這う、歩く、走る、くぐる、跳ぶ等、様々な体の動かし方を楽しめていたか。
- トイレで排泄することに対する意欲を引き出せたか。
- お絵描きや粘土遊び、踊り等、一人ひとりの表現を温かく受け止められたか。